

平成17年度 技能検定

1級 広告美術仕上げ 学科試験問題 (広告面ペイント仕上げ作業)

1 試験時間 1時間40分

2 問題数 50題(A群25題、B群25題)

3 注意事項

- (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
- (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
- (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
 - イ A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
 - ロ B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
 - ハ 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
- (6) 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
- (7) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
- (10) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

[A群(真偽法)]

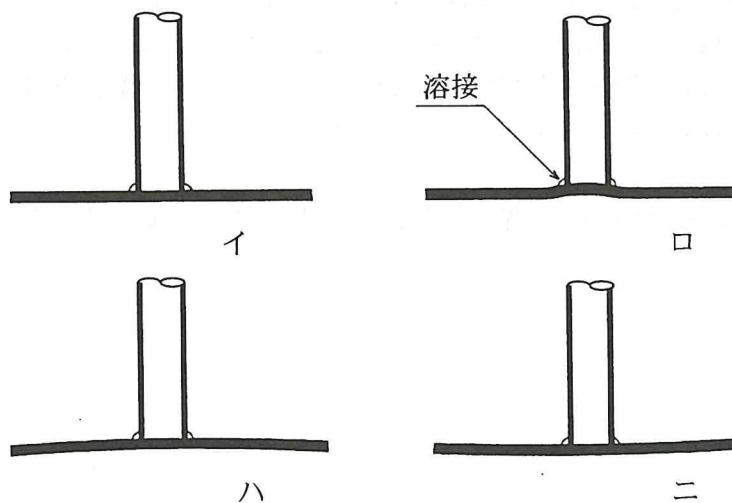
- 1 屋上広告板(塔)、壁面広告板、突出広告板、吊下広告板、建植広告板、シートポスター広告板、立看板、電柱広告板は、いずれも広告板の設置位置による分類である。
- 2 鉄骨組の屋外広告物は、鋼材枠の現場溶接を極力避け、できるだけ工場溶接で製作するとよい。
- 3 塗装の塗替えが困難な箇所や海岸近くの場所に設置する広告物の鋼材には、溶融亜鉛鍍金(ドブヅケメッキ)が効果的である。
- 4 アルミニウム製ブラインドリベットは、合金製ブラインドリベットより強度が高い。
- 5 地上10mのところに平形の広告物を取り付ける場合、広告面が受ける風圧の基準は、1m²当たり270kgである。
- 6 LEDは、数ボルトの低電圧で光3原色が高輝度でバランス良く発光できるようになったため、映像、標識など様々な分野に用途が広がり、ネオンサインのあり方にも影響を与えている。
- 7 補色関係にある2つの色を混合すると灰色に近くなり、これを減法混色という。
- 8 「AIDMA(アイドマ)の法則」によれば、広告効果の階層モデルは、注目→興味→記憶→欲求を経て行動にいたる。
- 9 図の構成において、点は位置を示し、線は方向を示し、面は大きさを示す。
- 10 マンセル色彩表示において、赤の彩度は、10Rより5Rのほうが低い。
- 11 レタリングにおけるスペーシングとは、語句と語句との間の調整をいう。
- 12 企業行動の表出のシステムのCIとは、コーポレート・イメージの略である。
- 13 ランドマークとしての人工的な建造物は、地域における景観の特性を把握する上で特に考慮する必要はない。
- 14 屋外広告物関係法令によれば、条例によって、広告物及びこれを掲出する物件の意匠、色彩については規制できることとなっている。
- 15 自動車の車体に表示される広告は、屋外広告物に該当しない。

[A群(真偽法)]

- 16 労働安全衛生関係法令によれば、屋内作業場において有機溶剤を取り扱う業務については、作業場の数に関係なく一社一人の有機溶剤作業主任者を置くことが義務付けられている。
- 17 労働安全衛生関係法令によれば、作業床の高さが10m以上の高所作業車の運転の業務は、技能講習を修了したものでなければ、行ってはならない。
- 18 次の動物の毛はいずれも筆や刷毛の穂の原毛として一般に実用されている。
(1)馬 (2)羊 (3)いたち (4)狸 (5)りす
- 19 ビームコンパスは、大きな円を描く場合に使用する。
- 20 調色された塗料の原色を知るためには、白色を混合して調べるとよい。
- 21 プラスチック板面のひっかき傷は、高速回転バフ研磨することによって元の状態に修復することができる。
- 22 亜鉛引鉄板に油性ペイントを塗る場合は、下地処理をする必要がある。
- 23 レーザー光線は、プラスチック板の切り抜きには応用できない。
- 24 ガラス面に粘着シート貼りを行うときに生じた気泡は、時間が経つと自然に消える。
- 25 シルクスクリーンプロセスのインクは、被写体の材質によって異なるので注意しなければならない。

[B群(多肢択一法)]

- 1 広告板の形態による分類として、正しい組合せはどれか。
 - イ 平型廣告板、箱型廣告板、立体廣告板、特殊廣告板
 - ロ 屋上廣告板、壁面廣告板、突出廣告板、吊下廣告板
 - ハ 塗装廣告板、プラスチック廣告板、粘着シート廣告板、金属銘板
 - ニ 建植廣告板、店頭廣告板、立看板、電柱廣告板
- 2 鉄骨金物の製作において、 $300 \times 300 \times t3$ の鉄板中央に $\phi 30$ のパイプ(鋼管)を溶接した場合の鉄の特性を図示したものとして、正しいのはどれか。



- 3 平面的な描法の図面はどれか。
 - イ 外観図
 - ロ 透視図
 - ハ 投影図
 - ニ 等測図
- 4 コンクリートの耐久性を左右する要因でないものはどれか。
 - イ ひび割れ
 - ロ 凍結
 - ハ 中性化
 - ニ ブリージング

[B群(多肢択一法)]

5 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

物に作用する「力」には、モーメントと()とがあり、モーメントとは「力の効率」ともいわれるものであり、もう一方は「方向性をもっている力」である。

- イ スカラーラー量
- ロ ベクトル
- ハ 分力
- ニ 偶力

6 非鉄金属の各種素材に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ アルミニウム——比重2.69と小さく、加工が容易で軽い。
- ロ 銅 ——炭酸ガスにより、緑青ができる、耐食性が良くなる。
- ハ 真鍮 ——銅とすずの合金、銅より硬く、耐食性も鉄より優れる。
- ニ 亜鉛 ——表面に鉛基性炭酸塩の皮膜を生じると、内部の酸化を防ぐので、鉄のメッキ用として使われる。

7 屋外広告にも使用が多くなったLEDの発光波長として、誤っているものはどれか。

色	波長(nm)
イ 青	470
ロ 赤	660
ハ 黄	588
ニ 緑	750

8 屋外広告物の基礎コンクリートを造る際の記述として、正しいものはどれか。

- イ 練りませから打終りまでの時間は、25℃以上で120分を限度とする。
- ロ 打込み時のコンクリートのやわらかさ等による施工軟度をワーカビリティといいう。
- ハ 生コンの強度はコンクリートを打込んだ日から3週目の強度をいう。
- ニ コンクリート品質が常用の場合のスランプは18cm以下とする。

9 紙の規格に関する記述として、正しいものはどれか。

- イ B1判の面積は、A1判の1.5倍である。
- ロ B1判の長辺は、A1判の長辺の1.5倍である。
- ハ B1判の1辺と、A1判の1辺との関係は、黄金分割比である。
- ニ A判とB判の面積や長さは、無関係である。

10 広告物のコミュニケーションの成立に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 知覚対象物はメッセージをもっている。
- ロ メッセージはイメージを触発する。
- ハ イメージを了解することによって概念が生まれる。
- ニ コミュニケーションの目的は、概念の否定である。

[B群(多肢択一法)]

- 11 調和についての解説文の()内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

調和とは「うまくつり合い、(a)がととのっていること。(b)又は衝突なく互いに程よく(c)すること」

	a	b	c
イ	部分	対立	調和
ロ	全体	否定	共存
ハ	部分	反目	構成
ニ	全体	矛盾	和合

- 12 マンセル記号による色の表記「5R 4/10」の説明文の()内に当てはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。

5Rは(a)、4は(b)、10は(c)を表している。

	a	b	c
イ	朱赤	中明度	中彩度
ロ	金赤	中明度	高彩度
ハ	濃い赤	低明度	低彩度
ニ	紫系赤	高明度	高彩度

- 13 色彩に関する記述として、正しいものはどれか。

イ	赤色と紫色は、補色関係にある。
ロ	光の3原色は、赤、黄、青である。
ハ	進出・後退の視覚現象は、色彩の持つ特性ではない。
ニ	色相、明度、彩度を色の3属性という。

- 14 文中の()内にあてはまる数値として適切なものはどれか。

2本のネオン管が分かれて見える限界は、その間隔の1000～1500倍と言われている。ネオン管文字の「田川」が1000m離れて読めるためには、文字高は最低()m以上必要である。

イ	1
ロ	2
ハ	4
ニ	8

[B群(多肢択一法)]

- 15 良好的な都市景観を創出する手段である「美観風致の維持」の「美観の維持」に関する記述の下線部のうち、適切でないものはどれか。

都市の特性に応じ、建築物の配置、構造、意匠などが市街地における道路、
イ 口
公園等の公共施設などと調和と均齊のとれたものとするなど、主として都市に
ハ
おける自然環境を維持しようとすること。

二

- 16 平成16年に改正された屋外広告物法の目的に関する記述条文として、最も適切なものはどれか。

- イ 美観風致の維持と公衆に対する危害の防止を目的としている。
ロ 良好的な景観形成と、風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。
ハ 良好的な景観形成と、美観の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。
ニ 良好的な景観形成と、美観風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。

- 17 作業場内の環境を快適に保つことは、従業員の安全や健康、効率の良い作業を継続する上で重要である。屋内作業場の環境と、環境を快適に保つために必要な措置の組合せが適切でないものはどれか。

- | 環境 | 措置 |
|----------|------------------------------|
| イ 空気環境—— | 粉じんや臭気について、不快と感ずることのないようにする。 |
| ロ 視環境—— | 採光、色彩環境、光源の性質にも配慮する。 |
| ハ 温熱環境—— | 作業の内容、季節にかかわらず常に一定の温度に保つ。 |
| ニ 音環境—— | 作業場内の騒音源となる機械設備を遮音材で覆う。 |

- 18 ローラーブラシの説明として、誤っているものはどれか。

- イ ローラーブラシは塗料の含み量が多く、回転による磨耗度の少ないものがよい。
ロ ローラーブラシは回転運動がよく、回転がスムーズなものがよい。
ハ ローラーブラシはラッカエナメルの含みがよく、回転が自由である。
ニ ローラーブラシの手入れ、保管方法は刷毛と同じである。

- 19 剥離作業に使用される工具として、適切でないものはどれか。

- イ ワイヤーブラシ
ロ スクレーパー^{はくり}
ハ トーチランプ
ニ バール

[B群(多肢択一法)]

- 20 横長広告板の刷毛塗装作業における標準的な塗装方法はどれか。
- イ 向かって右上方から塗り始めて、左下方で終わるようにする。
ロ 真中から塗り始めて、外側で終わるようにする。
ハ 向かって左下方から塗り始めて、右上方で終わるようにする。
ニ 特に決め手がなく、どこから塗り始めてよい。
- 21 合成樹脂エマルションペイントに関する記述として、適切なものはどれか。
- イ 酢酸ビニル樹脂系エマルションは、アクリル樹脂系エマルションより耐候性に優れている。
ロ 合成樹脂エマルションペイントは酸化重合により乾燥する。
ハ 合成樹脂エマルションペイントの稀釀剤には、水以外のものを使用してはならない。
ニ 合成樹脂エマルションペイントの乾燥を速やかにするには、少量のラッカーシンナーを入れるとよい。
- 22 ラッカーエナメルの刷毛塗装における稀釀剤として、適切なものはどれか。
- イ リターダシンナー
ロ 塗料シンナー
ハ テレビン油
ニ アルコール溶剤
- 23 木製浮き出し文字の塗装仕上げで、常温乾燥しないものはどれか。
- イ カシュー塗り仕上げ
ロ エマルション塗料塗り仕上げ
ハ セラックニス塗り仕上げ
ニ 透明うるし塗り仕上げ
- 24 かつら材の浮出し文字に反りを生じさせないための製作時の方法として、正しいものはどれか。
- イ かつら材の木表を表面にする。
ロ かつら材の木理のよい方を表面にする。
ハ かつら材の木裏を表面にする。
ニ かつら材の乾燥が70%以上であれば、表裏どちらでもよい。
- 25 鉄板製広告板にメラミン樹脂塗料を焼き付ける場合の加熱温度として、適切なものはどれか。
- イ 50°C
ロ 120°C
ハ 320°C
ニ 450°C

平成 17 年度（前期）技能検定 学科試験正解

広告美術仕上げ／廣告面ペイント仕上げ作業【1級】

真偽法

番号	1	2	3	4	5
解答	×	○	○	×	○

択一法

番号	1	2	3	4	5
解答	1	=	1	=	口

番号	6	7	8	9	10
解答	○	○	×	○	×

番号	6	7	8	9	10
解答	八	=	口	1	=

番号	6	7	8	9	10
解答	口	=	口	1	=

番号	11	12	13	14	15
解答	×	×	×	×	×

番号	11	12	13	14	15
解答	口	=	口	=	口

番号	16	17	18	19	20
解答	×	○	○	○	○

番号	16	17	18	19	20
解答	口	八	八	=	1

番号	21	22	23	24	25
解答	×	○	×	×	○

番号	21	22	23	24	25
解答	八	1	=	八	口

